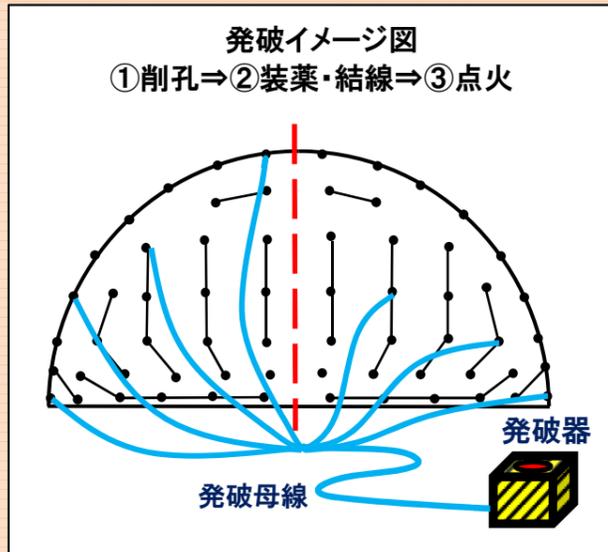


はじめに

地域の皆さまには、日頃より工事にご協力いただきありがとうございます。
静浦バイパスのトンネル工事を行なっている、鹿島・集特定建設工事共同企業体です。
トンネルの工事は山の中を掘る作業です。工事の状況をご理解いただくために、工事の進捗やトンネルの中の様子をご紹介しますトンネル通信を発行しています。今回は第6号です。
7月は主に、トンネルを発破掘削する作業と、掘った土砂を運搬する作業を行ないました。
一日でも早くトンネル工事が貫通するように工事を進めますので、今後ともよろしくお祈りいたします。

トンネルって、どうやってつくるの？

今回は、トンネルの発破方法をご紹介します。
静浦トンネルでは、硬い岩盤を砕くために、発破掘削を行なっています。発破では、爆薬を爆発させるために、雷管(らいかん)というものを使います。雷管を起爆させると、爆薬が爆発します。この爆発の力を利用して、硬い岩を砕きます。



①[削孔]切羽(きりは)と呼ばれるトンネル先端の面に、ドリルジャンボの削岩機(さくがんき)で穴をあけます。穴の深さは1mの掘進に対して1.2m程度。岩盤の硬さによりますが、一回の発破で約80孔の穴をあけます。

②[装薬・結線]雷管を装着した親ダイと呼ばれる爆薬と、追加の爆薬(増しダイ)を岩盤の硬さに応じて穴に入れます。雷管からでた脚線と呼ばれるケーブルを発破母線というケーブルにつなぎます。

③[点火]切羽の作業員全員が、決められた退避場所に退避し、安全確認を行ないます。発破器に発破母線を接続し、発破の合図(秒読み)を行なったうえで発破器に電気信号を送り、発破責任者が点火します。

④[点検]安全点検を実施し、次の作業(浮石除去・ずり処理)を行ないます。

工事の概要

発注者:静岡県 沼津土木事務所
施工者:鹿島・集特定建設工事共同企業体

(仮称)静浦1号トンネルは、国道414号の静浦バイパスの一部として、沼津市下香貫地区と大平地区を結ぶ全長1,177mのトンネルです。本来4車線で計画していますが、事業効果の早期発現のため、今回暫定的に南側線2車線での整備を行ないます。
トンネル掘削は、地山が強固な岩盤であるため、発破作業を行なっています。

作業時間のお知らせ

※夜間に試験発破作業を行ないます。 **夜間試験発破 7月28日(火)21時**
※問題がないようでしたら、**8月18日(火)から、夜間の発破を行なう予定です。**

トンネル掘削作業(防音ハウス内での作業) **昼夜 7時~18時 19時~翌6時**

※トンネル発破は昼夜、1日6回から7回程度を予定しています。

発破作業は、トンネル入口の防音扉2ヶ所を閉めて行ないます。
発破時の音や振動は、トンネルを掘る場所の硬さや岩盤の状況で、変わることがあります。
細心の注意をはらって作業していますが、ご意見があれば、JV事務所までご連絡ください。

土砂運搬作業(防音ハウス外での作業) **8時30分~17時**

ちょっと、ひと休み

真夏の暑い中、JV事務所にひまわりが咲きました。近隣の方が苗を育てて植えてくれました。7月1日に強風が吹き、咲いたばかりのひまわりが、ほとんどなぎ倒れてしまいました。起こして、支えをつけ、なんとか復活したひまわりたちが、見事に咲いてくれました。



ひまわりの豆知識
【花言葉】「私はあなただけを見つめる」
ひまわり(向日葵)は、花が太陽の方向を追うように動きます。ただし、太陽を追って動くのは生長が盛んな若い時期だけで、完全に開いた花は東を向いたままになるそうです。

近隣の皆さまには、重機のエンジン音やダンプの走行音等で、大変ご迷惑をおかけしております。お気づきの点がありましたら、事務所までお知らせください。

どこまで掘れたかな？

(進捗状況のご報告)

トンネル坑口から204m
(7月31日現在)
全長1177mのうち
約17%掘削完了

連絡先
鹿島・集特定建設工事共同企業体
現場代理人 上南(うえなみ) 隆
お問い合わせは、お気軽に 副所長の 天野 まで

沼津市下香貫塩満1766 (電話)055-935-5896